



(参考仮訳)

プレスリリース No. 14/456  
即時解禁  
2014年10月3日

国際通貨基金 (IMF)  
米国・ワシントン DC

## IMF、安定化から持続可能な成長へのシフトで加盟国を支援

国際通貨基金 (IMF) のクリスティーヌ・ラガルド専務理事は、本日発表された IMF の 2014 年度年次報告書「安定化から持続可能な成長へ」に寄せたメッセージのなかで、世界金融危機の発生から 7 年が経過したが、世界は依然として、急速な雇用創出を支え万人に恩恵をもたらす強固な成長という持続可能な回復を確保する途上にあると述べた。

「回復は進んでいるものの、依然あまりにも弱く脆弱で金融市場のセンチメントの変動の影響下にある。何百万という人々が職を失ったままで、不確実性の水準は改善途上にあるかもしれないが、決して消え去ったわけではない」。ラガルド氏は「危機そして回復期を通し、IMF は (加盟国の) 経済協力の要となってきた」と述べた。

この度発表となった報告書は、IMF 理事会の活動内容に関するものであり、2013 年 5 月 1 日から 2014 年 4 月 30 日の財務諸表も含まれている。IMF の 188 加盟国に対する支援のなかでも、IMF の責務の中核分野 (加盟国の経済・金融部門政策の評価、必要に応じた融資の実施、及び経済政策の中核分野での能力強化) を重点的に詳説している。

金融部門については、IMF は世界レベルで加盟国の改革努力を引き続き支援した。この 1 年間で、IMF 理事会は加盟国に対し 215 億ドルの融資を、さらに低所得国に対しては 2 億 2,000 万ドルの譲許的融資を承認した。理事会は、今後も確実に可能な限り効果的に支援できるよう、「フレキシブル・クレジットライン」、「予防的流動性枠」及び「ラピッド・ファイナンス・インストルメント」といった各種制度の点検を行った。また、加盟国は、今後の低所得国の融資ニーズに応えるために、金の売却益の移転に同意した。

危機の発生以降、IMFは全加盟国に対し研修を行うとともに、その90%に対し技術支援を行うなど、加盟国の経済面での成功の礎の構築に必要な、諸制度の設計、構築、及び強化で支援した。4年連続で、特に低所得国での技術支援の実施を増やすとともに、研修への支出を増額した。技術支援への需要は、財政分野に関するものが引き続き最も高いが、全地域で需要は増えている。過去1年で、IMFは新たなツールと研修コースを開設し、ガーナに新たに地域技術支援センターを設立するとともに、新たにドナーより1億8,100万ドルの拠出を受けた。

1年を通し、IMFは経済に関する国別サーベイランスとマルチラテラル・サーベイランス（多国間政策監視）の一体化を、特に「波及効果報告書」と「対外部門の安定性に関するパイロット報告書」、そして国グループの報告書（クラスター報告書）を通し一段と進めた。IMFは、先進国では財政政策、新興市場国・地域では成長戦略と構造改革、そして低所得国では脆弱性、多様化、構造面の転換に貢献した。また、格差、環境、及び女性の経済参加といった安定性と成長に影響する各種課題についての作業も強化した。

IMFは、国別と多国間のモニタリング、そして助言の一体化の改善をその優先事項とした。2013年年次総会と2014年の春季会合で発表した、専務理事の「グローバル政策アジェンダ」では、政策担当者間の政策の一貫性と協力の強化の必要性を強調した。優先課題は明白である。先進国・地域では、回復を確保するための政策の選択を慎重に行いこれを十分に伝達することに集中すべきであり、また新興市場国・地域では、ファンダメンタルズを強化し脆弱性の軽減に努めるとともに、構造改革を拡大する必要がある。そして、誰もが協力し話し合いに参加する必要がある。

年次報告書でラガルド氏は、IMF誕生70周年に言及した。「1944年、世界のリーダーは、戦争という混乱と殺戮を過去のものとし、争いではなく協調、孤立ではなく一体化に根ざした世界を構築すると決意した。IMFは、国の繁栄のためには、世界的視点を持たなければならないという原則の上に設立された」

### 背景：

IMFの「2014年度年次報告書」の印刷版は8カ国語で出版される（アラビア語、中国語、英語、フランス語、ドイツ語、日本語、ロシア語、スペイン語）。CD-ROMは英語のみ。インターネットでのアクセスは[www.imf.org/external/pubs/ft/ar/2014/eng](http://www.imf.org/external/pubs/ft/ar/2014/eng)。年次報告書のウェブページは、IMFの2014年度の財務諸表や他の関連文書も掲載している。年次報告書、財務諸表、CD-ROMは、無料で入手可能。問い合わせは、IMF Publication Services, P.O. Box 92780, Washington, DC 20090、または、

[www.imfbookstore.org](http://www.imfbookstore.org) 或いは [www.elibrary.imf.org](http://www.elibrary.imf.org) (オンライン) [publications@imf.org](mailto:publications@imf.org)  
(電子メール) まで。